

日本消滅の危機！？ 少子化問題

2022年2月2日
山田太郎事務所
V1

山田太郎を応援する

山田太郎をSNSで応援する

参議院議員
山田太郎

お知らせ

活動報告

報道記事

イベント

表現自由

子ども

不安

デジタル

経済

キーワードで検索



参議院議員（全国比例）
デジタル大臣政務官 兼 内閣府大臣政務官
山田太郎



山田太郎をSNSで応援する



表現の自由を守る >



子どもや障がい者に優しい社会 >



若者の将来不安の解消 >



デジタル社会の諸課題の解決 >



経済成長をもたらす >

ここをクリック！



山田太郎をもっと応援する（オンラインサロン等）

参議院議員
山田太郎

お知らせ

活動報告

報道記事

イベント

表現自由

子ども

不安

デジタル

経済

キーワードで検索



参議院議員（全国比例）
デジタル大臣政務官 兼 内閣府大臣政務官
山田太郎

👍 山田太郎をSNSで応援する

🖋 表現の自由を守る >

💖 子どもや障がい者に優しい社会 >

👥 若者の将来不安の解消 >

💻 デジタル社会の諸課題の解決 >

📈 経済成長をもたらす >

ここをクリック！



自民党内での少子化議論の仕掛人

自民党内での少子化対策に関する議論の経緯

- 2020年4月 「第4次少子化社会対策大綱」
5年に1度の見直しの時期
- 2020年4月 自民党参議院政策審議会（副会長）
「少子化社会対策に関する緊急提言」取りまとめ
- 2020年4月 自民党内少子化大綱の見直し担当
自民党本部内閣第一副部長として審議
- 2020年6月 自民党本部政調会
人口減少社会対策特別委員会にPJ発足
(座長松山政司、事務局長古賀友一郎)
事務局次長に就任
- 2020年11月 党本部少子化対策特別委員会に格上げ

党内に少子化社会対策について議論する場がないことに疑問を呈す

「人口減少社会対策特別委員会」の
関係議員に設置を提言
(保育施設の公定価格の設定について過去2回議論された
だけの委員会)

自民、少子化議論P T発足へ 政府大綱の具体化目指す

2020-06-05・産経新聞 東京朝刊・5ページ

自民党が深刻化する少子化問題の解決策を議論するプロジェクトチーム（P T）を近く発足させることが4日、分かった。政府が5月末に閣議決定した今後5年間の子育て支援策の指針「少子化社会対策大綱」に盛り込まれた施策の具体化などを目指す。党の人口減少社会対策特別委員会の下に設置する方向だ。複数の党関係者が明らかにした。

大綱では、妊娠や出産、子育ての経済面での支援を強調し、子供がほしい人々の希望が全てかなった場合の「希望出生率1・8」の実現を打ち出した。ただ、経済支援の拡充幅やそのための財源の裏付けなどの記載は乏しいため、P Tで令和3年度予算編成に向けた議論を加速させ、具体化を進めたい考えだ。少子化による人口減少に伴う急激な社会構造の変化への対応策についても議論する。

2019年フランス視察（少子化対策）

フランスの少子化対策

調査対象

保健省 上級審議会会長

面談背景

- ✓ 日本では1980年から出生率が低下し始め、1992年以降は1.50以下が続き少子化が深刻
- ✓ フランスは19世紀以来から数度にわたり出生率の低下を経験。1993年には1.66まで落ち込んだが、2000年代後半に2.0前後まで回復
- ✓ 少子化対策先進国から具体的な取組みを学ぶ

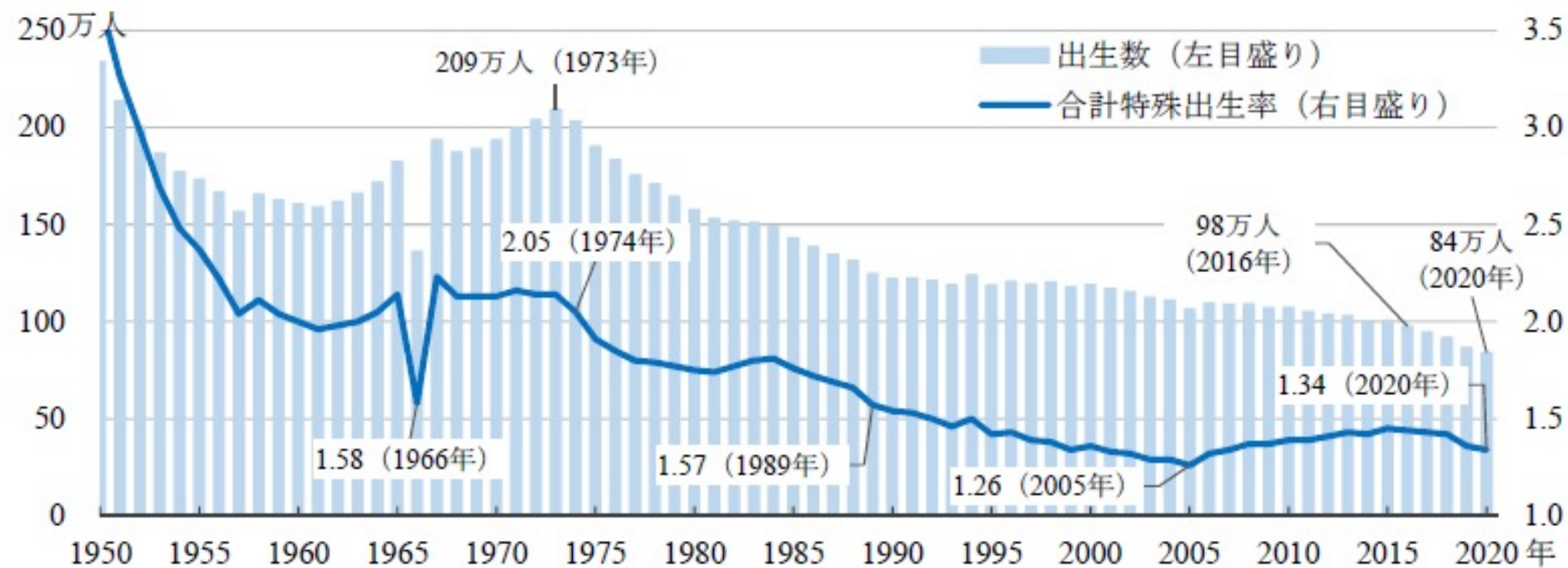


結果

- ✓ フランスでは、30種類もの家族への手当があり、特に第3子からの手当が充実している
- ✓ フランスでは、子を2人以上扶養している世帯に家族手当（児童手当）が支給
子2人の場合は月約1万5500円、子3人の場合は月約3万5000円、以降子1人につき月約1万9000円が追加される
- ✓ 子3人以上の低・中所得世帯には、多子手当が支給
低所得世帯には月2万6000円、中所得世帯には月約2万円
- ✓ 子3人以上の世帯は、「大家族カード」が申請できる
国有鉄道が最大75%割引、美術館やホテル料金も割引される
- ✓ 出産にかかる費用や産後のリハビリ費用も全て無料
- ✓ 出産後も、休暇前と同等の給与、ポジションが法律で保障されている
- ✓ 日本でも、単発の施策ではなく、出産・子育ての不安を払拭する多面的な施策が実施

少子化の現状と対策

コロナ禍と少子化の加速



出典：桐原康栄「少子化の現状と対策」（国立国会図書館2021.12.7）J1頁

コロナ禍と少子化の加速

表 1 2020 年の出生数・合計特殊出生率・婚姻数・妊娠届出数（2019 年との比較）（△は減少）

	2019（令和元）年	2020（令和 2）年	対前年増減
出生数	86 万 5239 人	84 万 835 人	△2 万 4404 人（△2.8%）
合計特殊出生率	1.36	1.34	△0.02
婚姻数	59 万 9007 組	52 万 5507 組	△7 万 3500 組（△12.3%）
妊娠届出数	91 万 6590 件	87 万 2227 件	△4 万 4363 件（△4.8%）

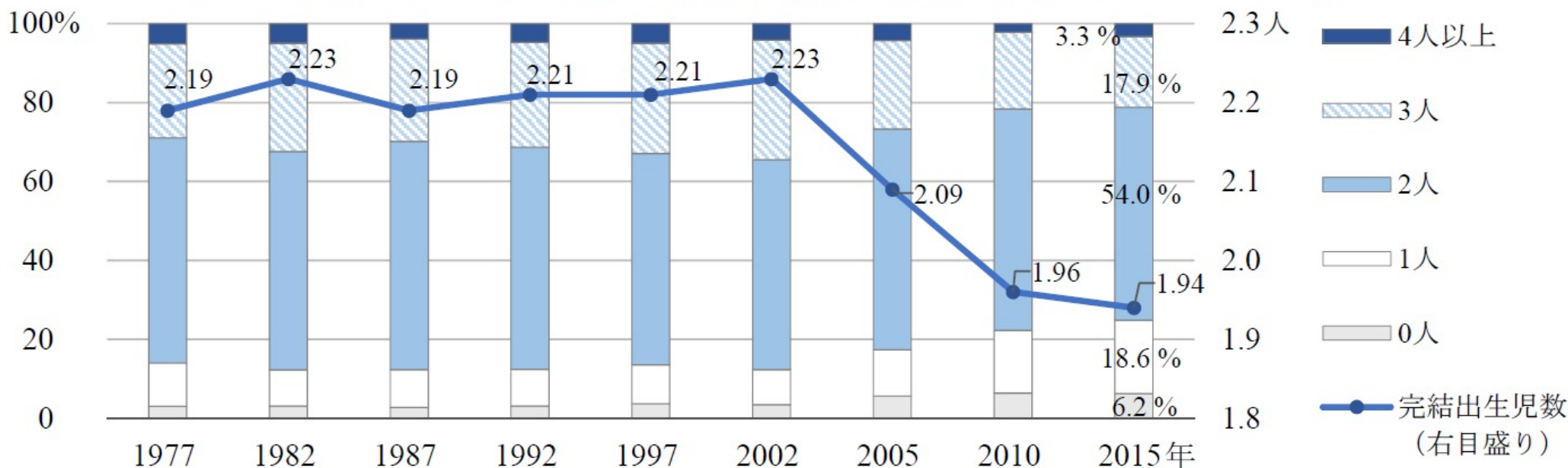
未婚化の進展

表2 年齢別・男女別の未婚割合（1980年・2000年・2020年） （単位：％）

	男性			女性		
	1980年	2000年	2020年	1980年	2000年	2020年
25～29歳	55.2	69.4	72.9	24.0	54.0	62.4
30～34歳	21.5	42.9	47.4	9.1	26.6	35.2
35～39歳	8.5	26.2	34.5	5.5	13.9	23.6
50歳時	2.6	12.6	25.7	4.5	5.8	16.4

夫婦の出生子ども数の減少

図2 夫婦の出生子ども数の割合と完結出生児数の推移（1977～2015年）



※ 完結出生児数：夫婦の最終的な子ども数
結婚持続期間が15～19年の夫婦の平均出生子ども数

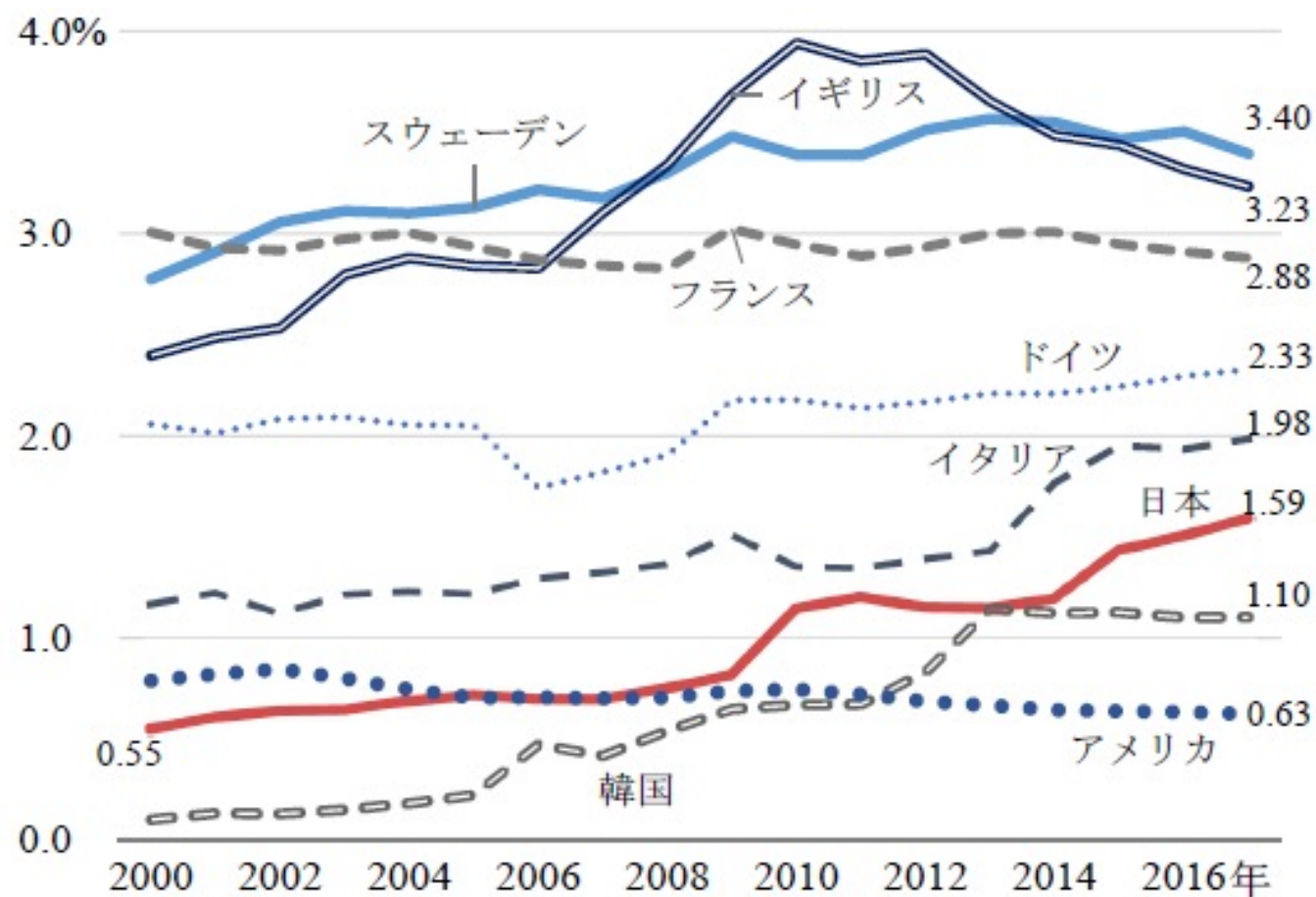
これまでの少子化対策

年	名称	主な内容等
1994	今後の子育て支援のための施策の基本的方向について（エンゼルプラン）	仕事と育児の両立のための雇用環境整備、多様な保育サービスの充実、母子保健医療体制の充実、住居・生活環境の整備等
	緊急保育対策等5か年事業	低年齢児・延長保育等拡大、地域子育て支援センターの整備等
1999	少子化対策推進基本方針	固定的性別役割分業や職場優先の企業風土の是正、仕事と子育ての両立のための雇用環境整備、家庭や地域の環境づくり等
	重点的に推進すべき少子化対策の具体的実施計画について（新エンゼルプラン）	保育サービス関係だけでなく、雇用、母子保健、相談、教育等の事業も加えた実施計画
2001	待機児童ゼロ作戦	保育所、保育ママ、幼稚園預かり保育等の活用、待機児童解消
2002	少子化対策プラスワン	男性も含めた働き方の見直し、地域における子育て支援等
2003	次世代育成支援対策推進法	地方公共団体と企業に行動計画の策定を義務付け
	少子化社会対策基本法	少子化社会対策会議の設置、同対策大綱の策定、国会報告等
2004	少子化社会対策大綱	少子化の流れを変えるための施策を強力に推進
	少子化社会対策大綱に基づく重点施策の具体的実施計画について(子ども・子育て応援プラン)	仕事と家庭の両立支援に加え、若者の就労支援、働き方の見直し、不妊治療支援等も含めた幅広い分野の具体的目標値を設定
2006	新しい少子化対策について	家族・地域のきずなの再生や社会全体の意識改革を図るための国民運動の推進、年齢進行ごとの子育て支援策等
2007	「子どもと家族を応援する日本」重点戦略	働き方の見直しによる仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現、包括的次世代育成支援の枠組み構築等
2008	新待機児童ゼロ作戦	保育サービスの量的拡充・多様化、小学校就学後まで対象拡大
2010	子ども・子育てビジョン（第2次大綱）	社会全体で子育てを支え、生活と仕事と子育ての調和を目指す。
2012	子ども・子育て関連3法	幼児期の学校教育・保育、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進。消費税率引上げによる増収分の一部を充当
2013	待機児童解消加速化プラン	約40万人分の保育の受け皿確保のため、地方公共団体を支援
	少子化危機突破のための緊急対策	結婚・妊娠・出産支援を新たな柱に。結婚～育児の切れ目ない支援
2014	放課後子ども総合プラン	放課後児童クラブ及び放課後子供教室の整備・拡充
2015	少子化社会対策大綱（第3次大綱）	結婚支援を追加。子育て支援策の充実、若年齢での結婚・出産希望実現、多子世帯に配慮、働き方改革、地域の実情に即した取組
2016	ニッポン一億総活躍プラン	「希望出生率1.8」の実現に向けた若者の雇用安定・待遇改善、多様な保育サービスの充実、働き方改革の推進等
	子育て安心プラン	女性就業率80%にも対応できる32万人分の保育の受け皿整備
2017	新しい経済政策パッケージ	幼児教育・保育の無償化、待機児童解消、高等教育の無償化等
	新・放課後子ども総合プラン	「小1の壁」の打破、放課後児童クラブの待機児童解消等
2018	新・放課後子ども総合プラン	「小1の壁」の打破、放課後児童クラブの待機児童解消等
2020	少子化社会対策大綱（第4次大綱）	「希望出生率1.8」実現に向けたライフステージごとの総合的対策

児童手当の支給月額・支給対象年齢等の主な変遷

	1986 年 6 月	1992 年 1 月	2000 年 6 月	2006 年 4 月	2010 年 4 月 (子ども手当)	2019 年度現在
第 1 子	なし	5,000 円 (1 歳未満) 注2	5,000 円 (小学校入学前)	5,000 円 (小学校修了前)	13,000 円 (中学校修了前)	15,000 円 (3 歳未満)
第 2 子	2,500 円 (2 歳未満) 注1	5,000 円 (5 歳未満) 注3				10,000 円 (3 歳～中学校 修了前)
第 3 子 以降	5,000 円 (中学校修了前) 注1	10,000 円 (5 歳未満) 注3	10,000 円 (小学校入学前)	10,000 円 (小学校修了前)		15,000 円 (小学校修了前) 10,000 円 (中学校在学中)
所得制限	340.6 万円	358.9 万円	432.5 万円	780 万円	なし	960 万円
対象 児童数	約 330 万人	約 294 万人	約 578 万人	約 1299 万人	約 1810 万人	約 1637 万人
支給総額	約 1604 億円	約 1379 億円	約 2935 億円	約 8069 億円	約 2 兆 2853 億円	約 2 兆 678 億円

主要国の家族関係社会支出の対GDP比及び合計特殊出生率

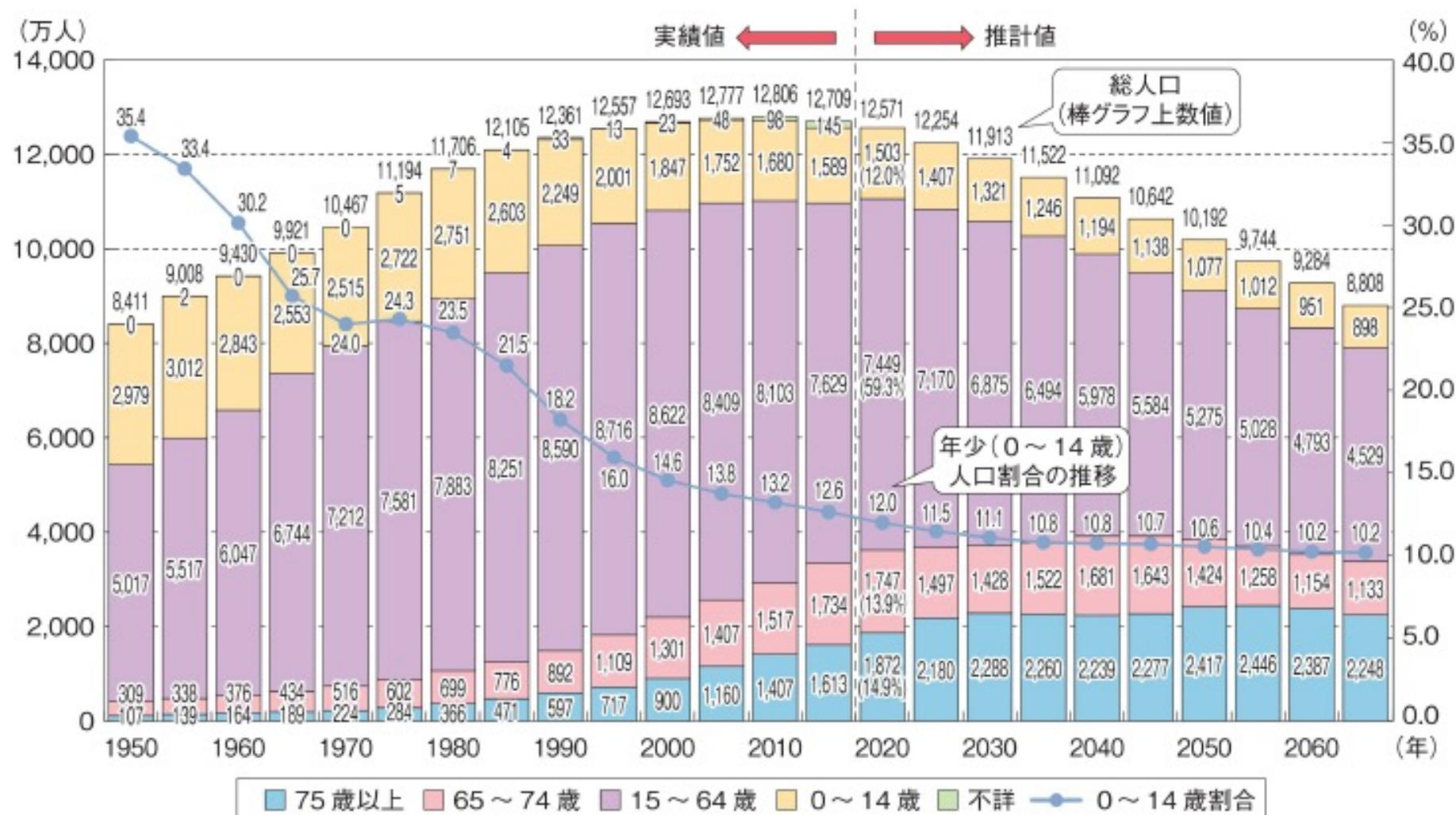


	フランス	アメリカ	スウェーデン	イギリス	ドイツ	日本	イタリア	韓国
合計特殊出生率	1.83	1.71	1.70	1.63	1.54	1.36	1.27	0.92

出典：桐原康栄「少子化の現状と対策」（国立国会図書館2021.12.7）J9頁

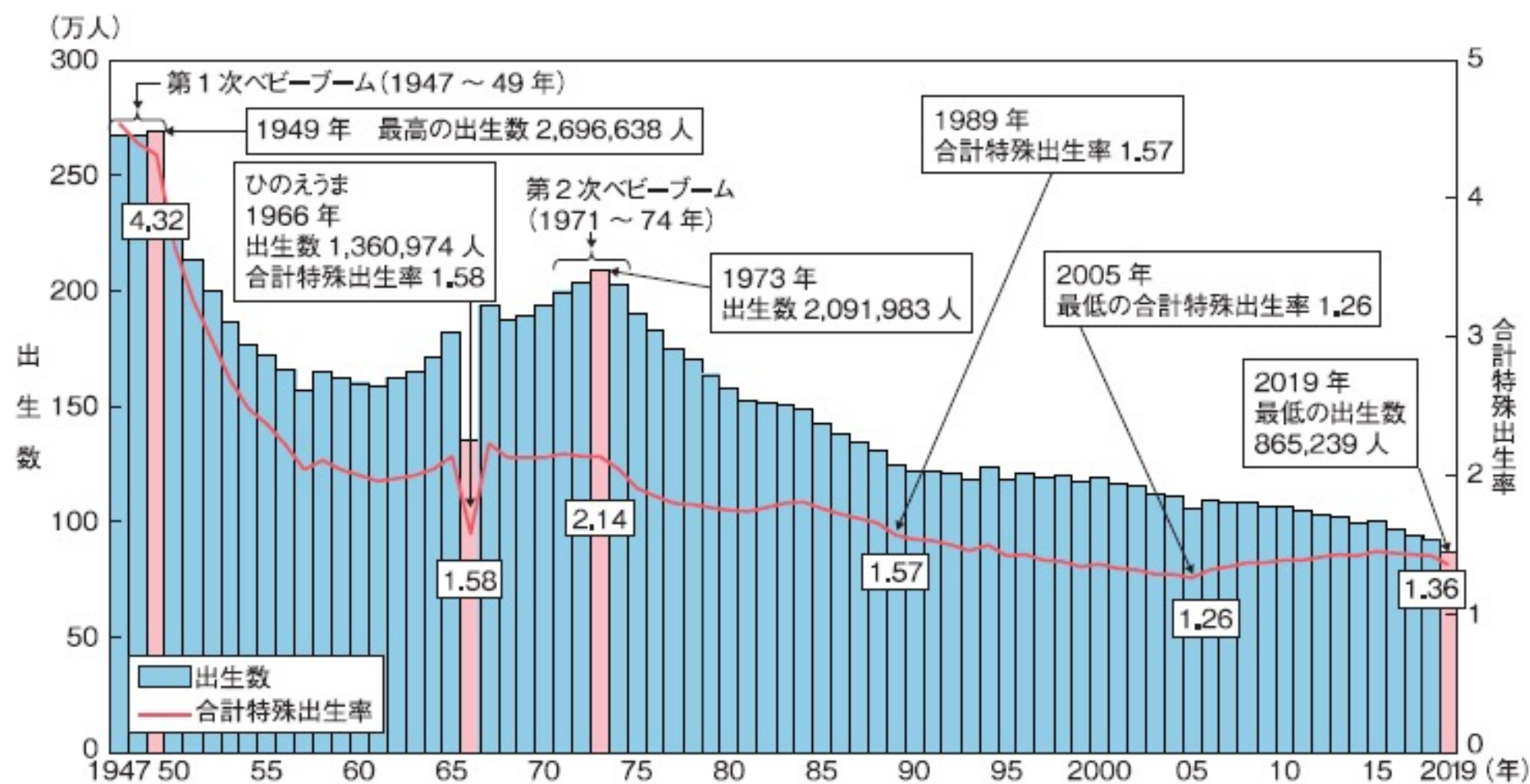
少子化社会对策白書

我が国の総人口及び人口構造の推移と見通し



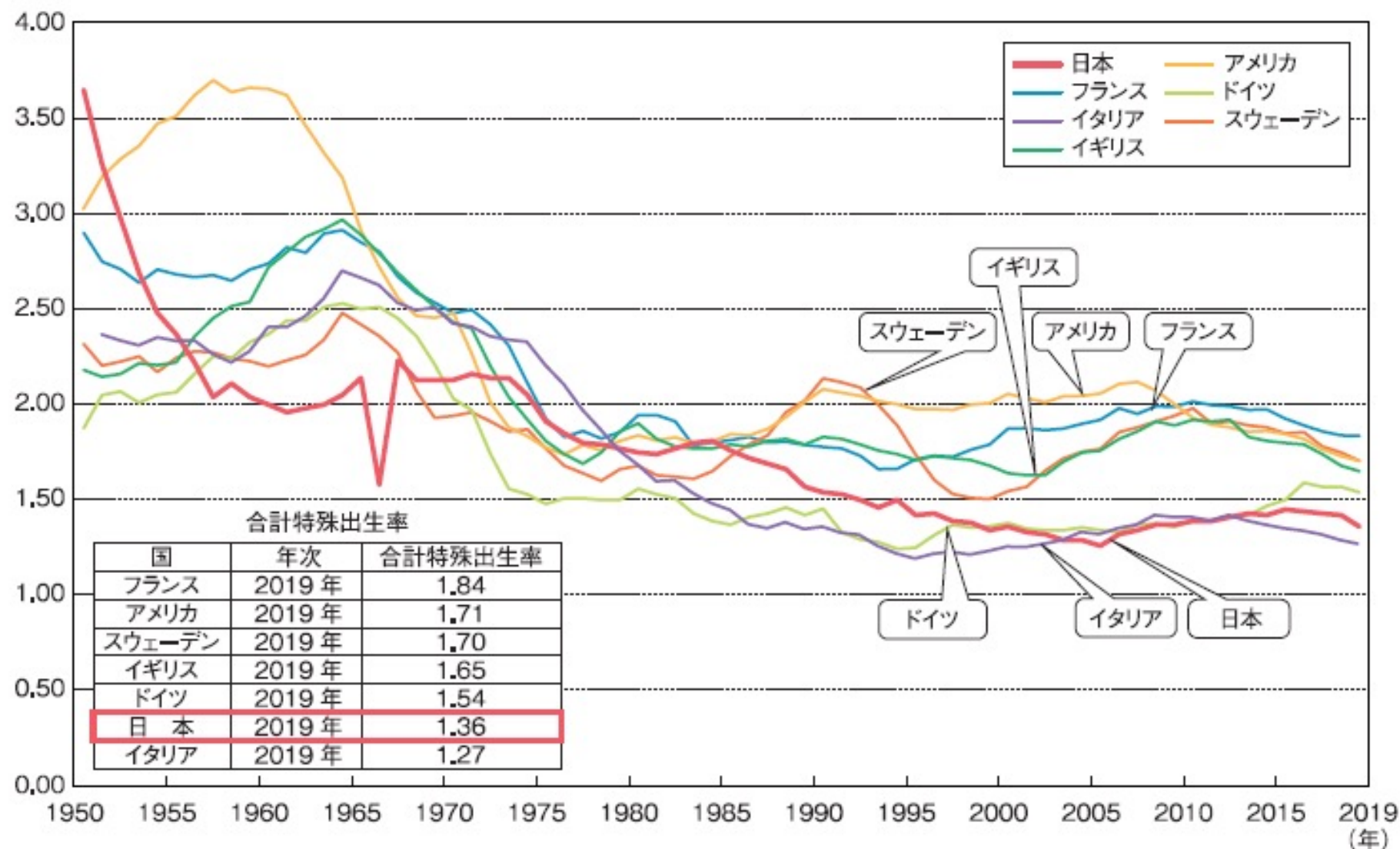
出典：「令和3年版少子化社会対策白書」2頁

出生数及び合計特殊出生率の年次推移

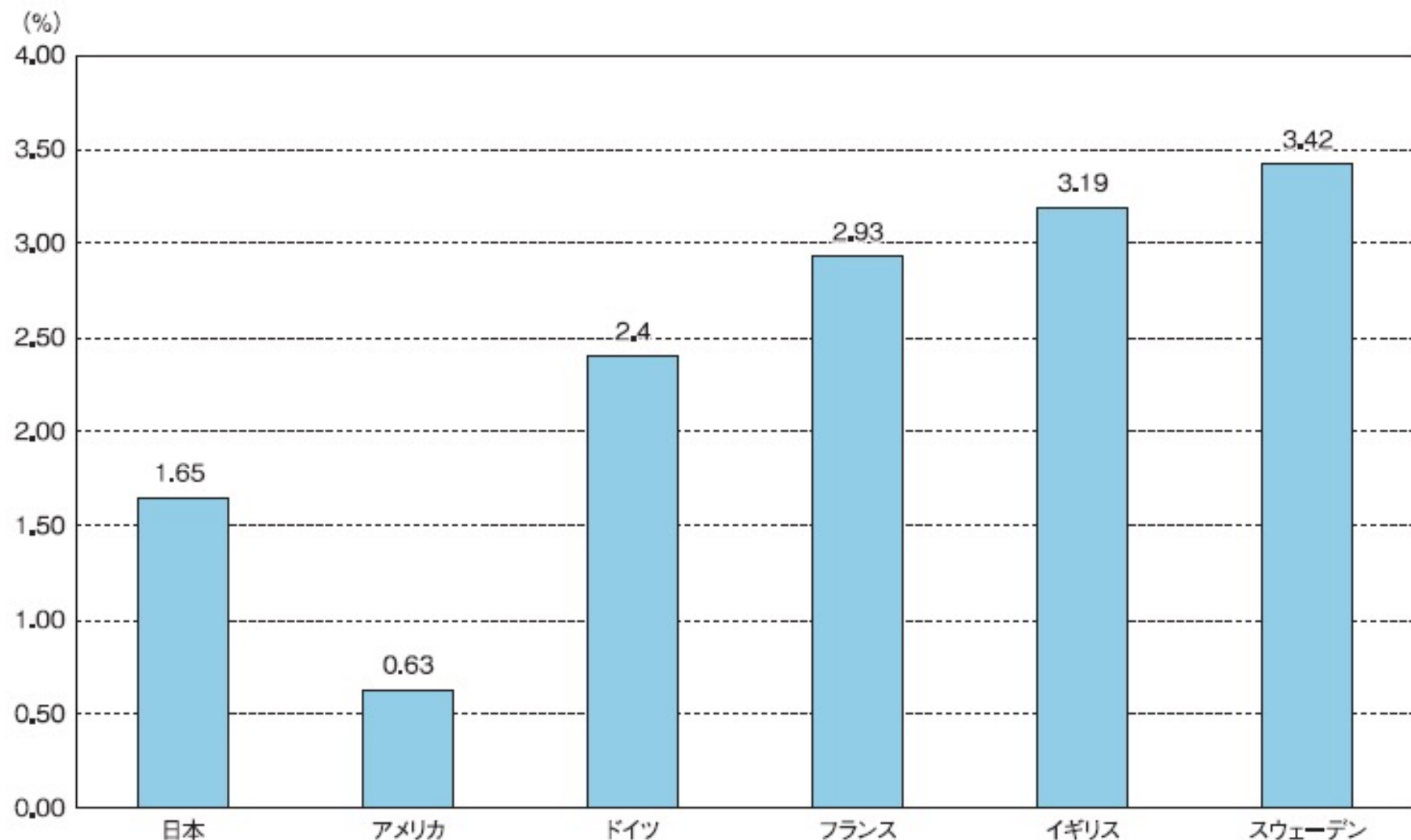


出典：「令和3年版少子化社会対策白書」5頁

諸外国の合計特殊出生率の動き（欧米）

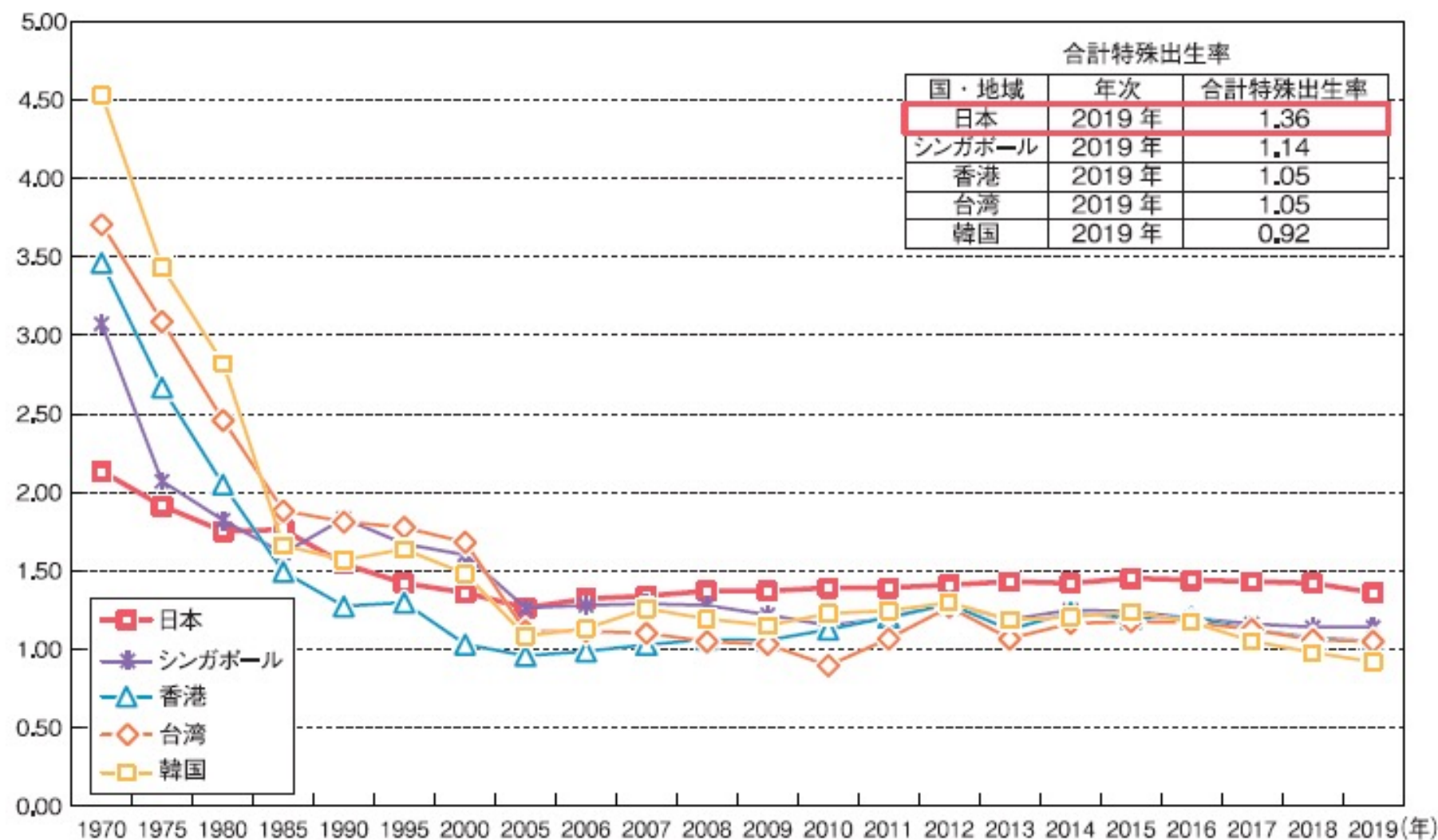


各国の家族関係社会支出の対GDP比の比較



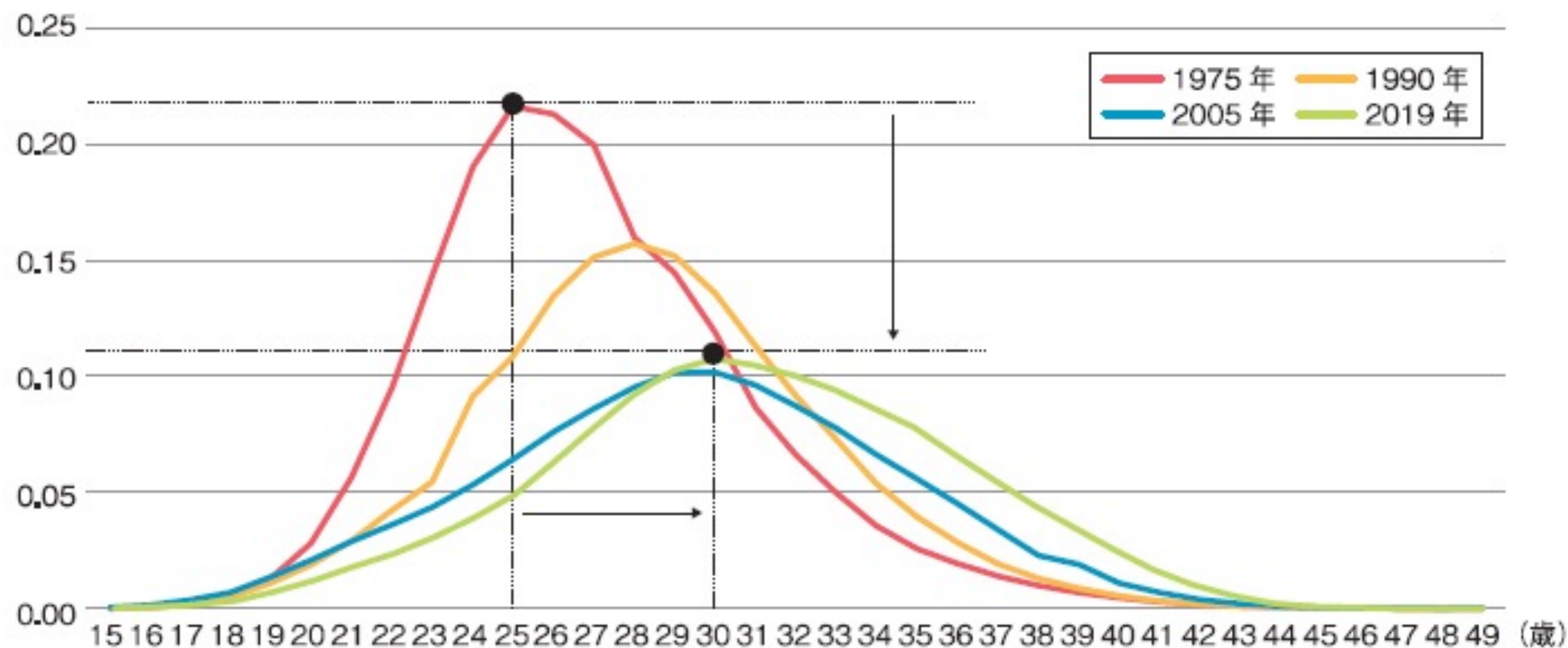
出典：「令和3年版少子化社会対策白書」7頁

諸外国の合計特殊出生率の動き（アジア）



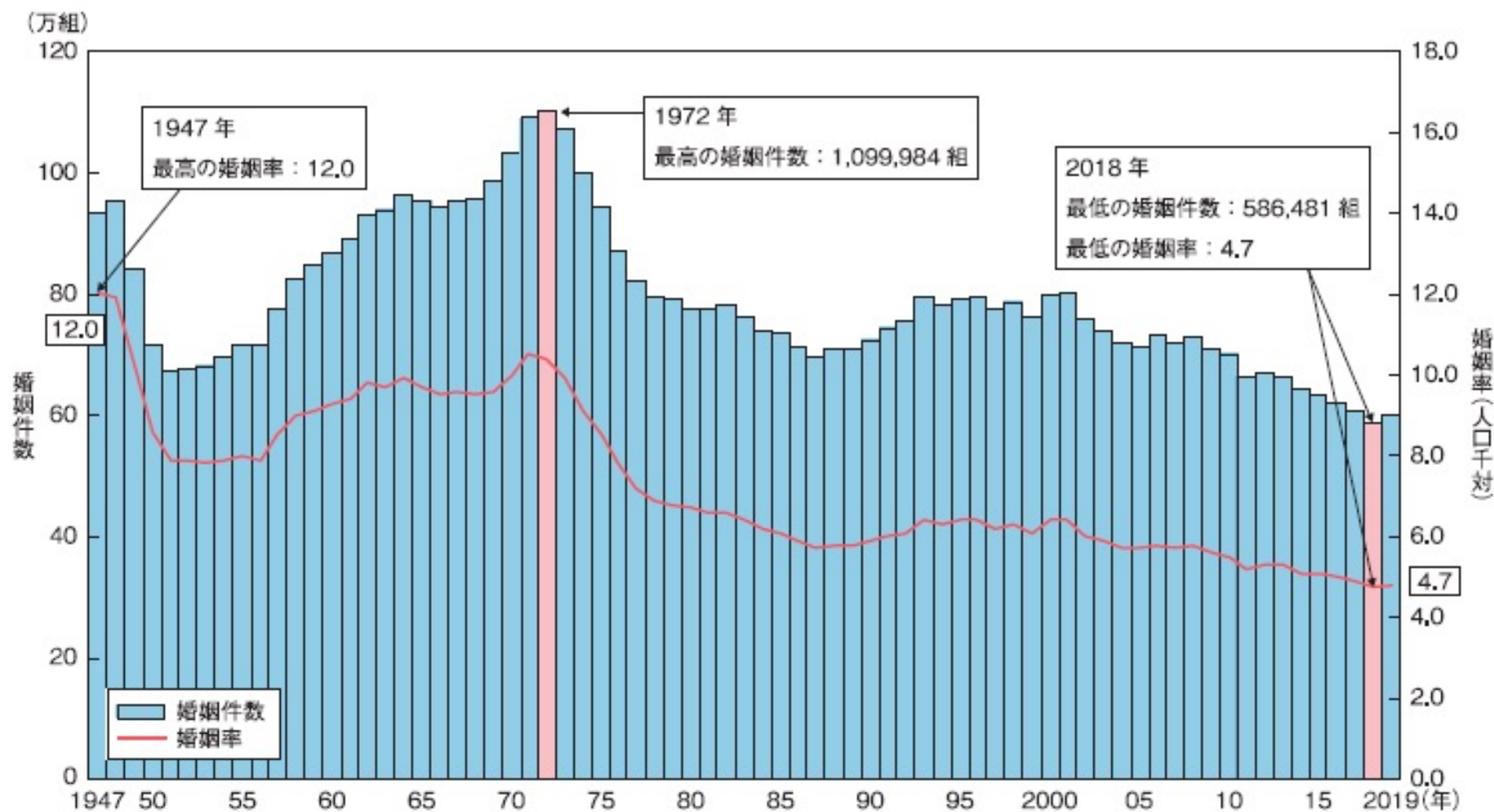
出典：「令和3年版少子化社会対策白書」8頁

女性の年齢別出生率



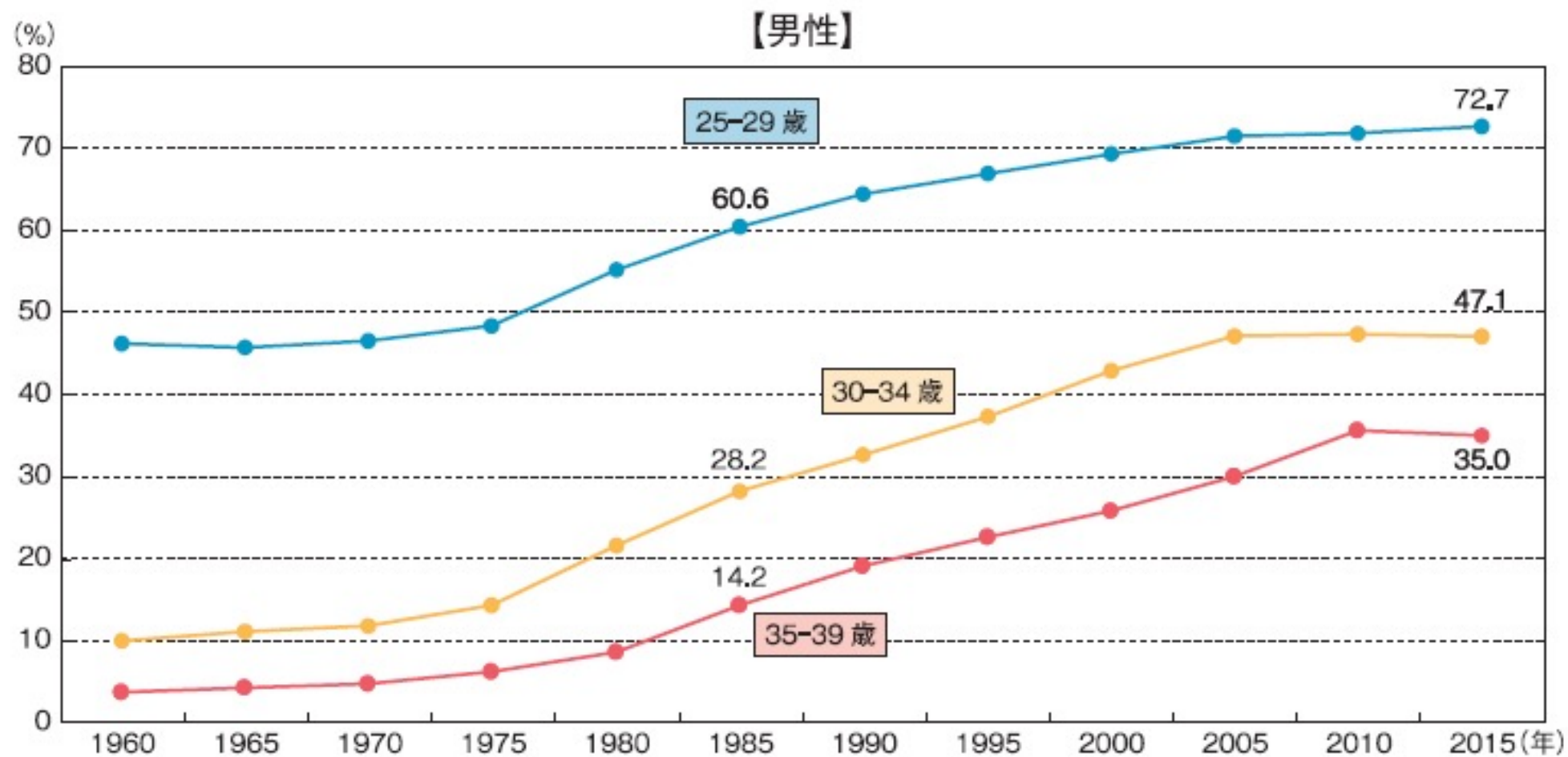
出典：「令和3年版少子化社会対策白書」9頁

女性の年齢別出生率



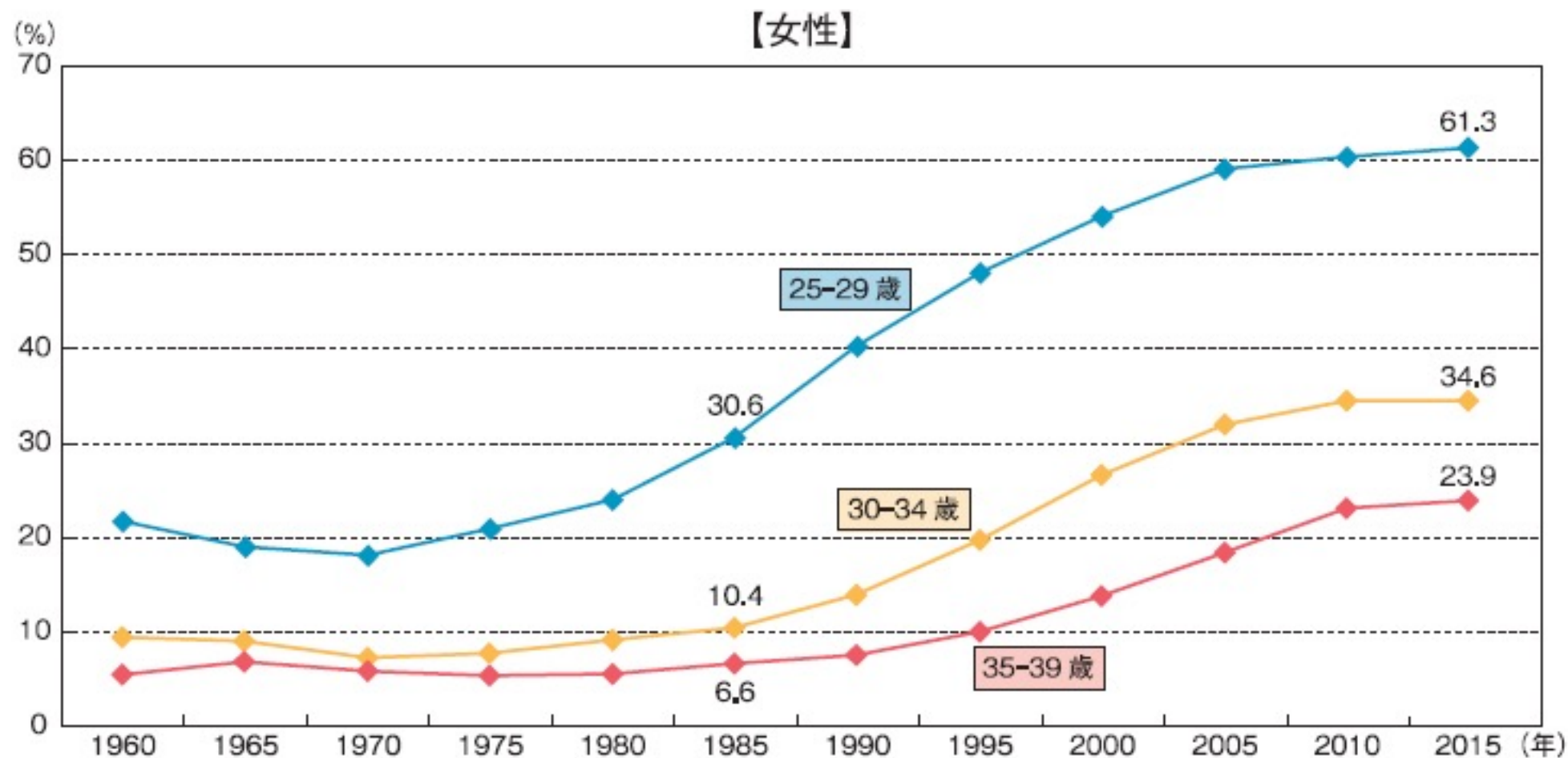
出典：「令和3年版少子化社会対策白書」10頁

年齢（5歳階級）別未婚率の推移：男性



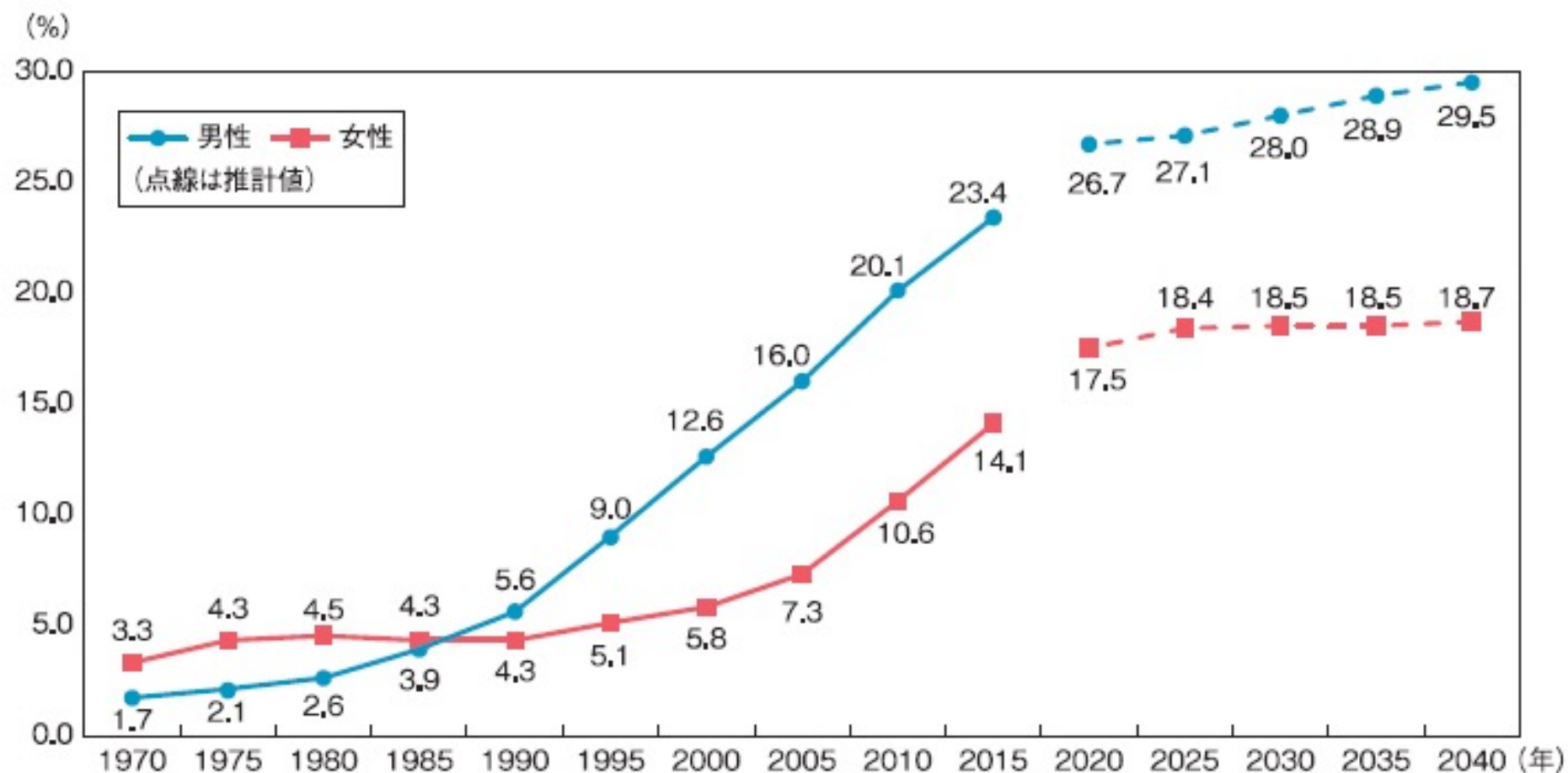
出典：「令和3年版少子化社会対策白書」11頁

年齢（5歳階級）別未婚率の推移：女性



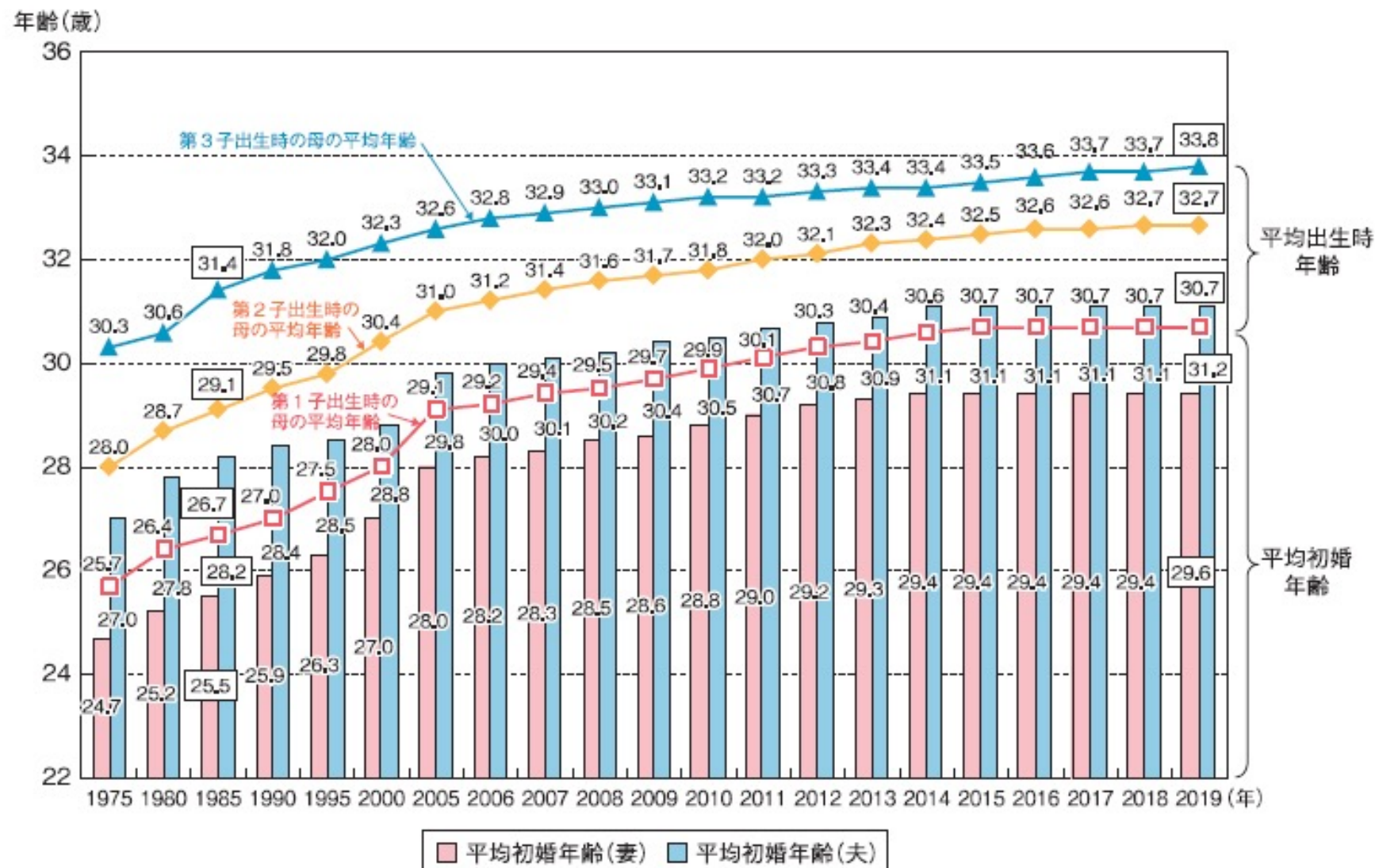
出典：「令和3年版少子化社会対策白書」11頁

50歳時の未婚割合の推移と将来推計



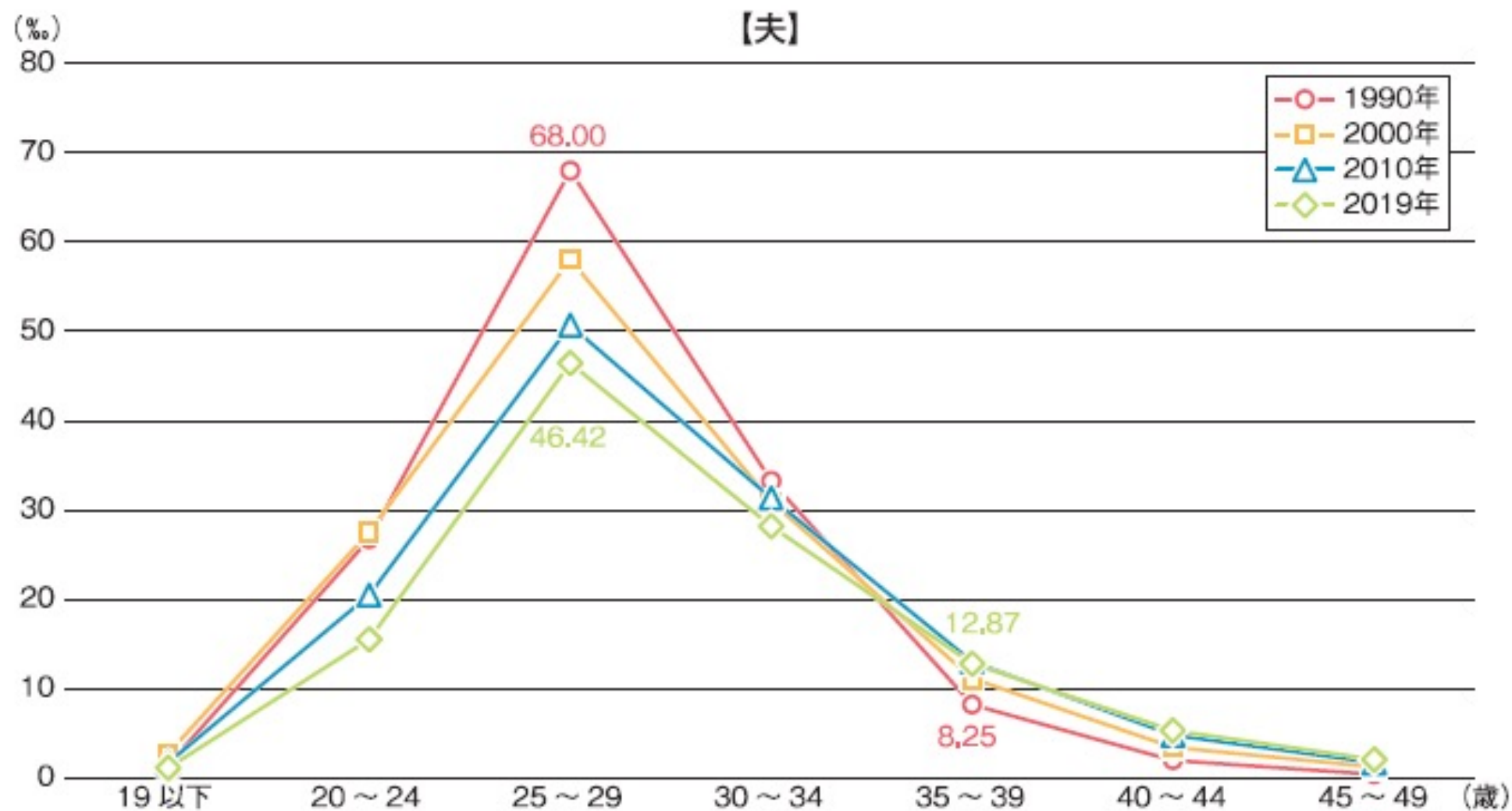
出典：「令和3年版少子化社会対策白書」12頁

平均初婚年齢と出生順位別母の平均年齢の年次推移



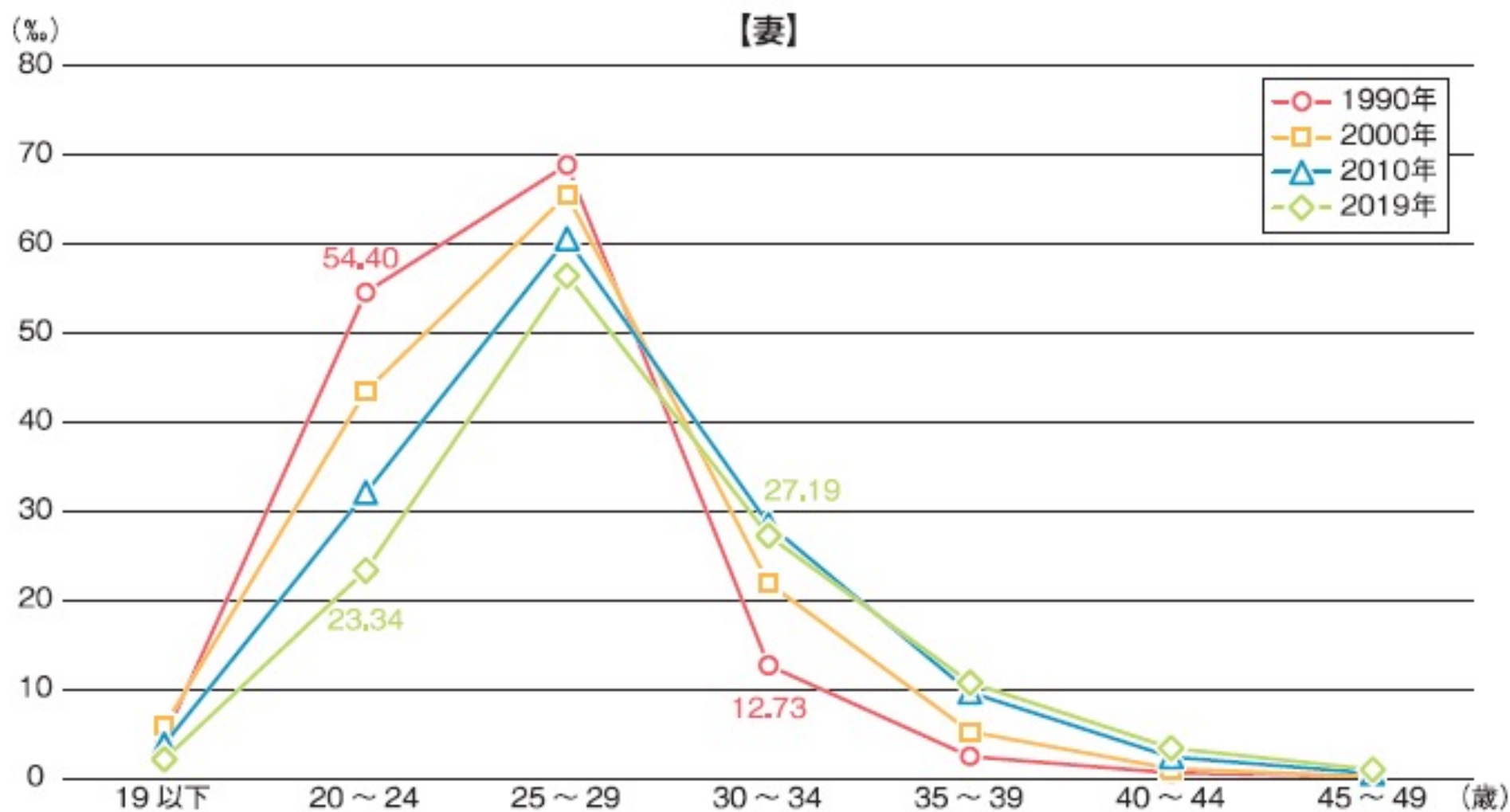
出典：「令和3年版少子化社会対策白書」13頁

年齢（5歳階級）別初婚率：男性



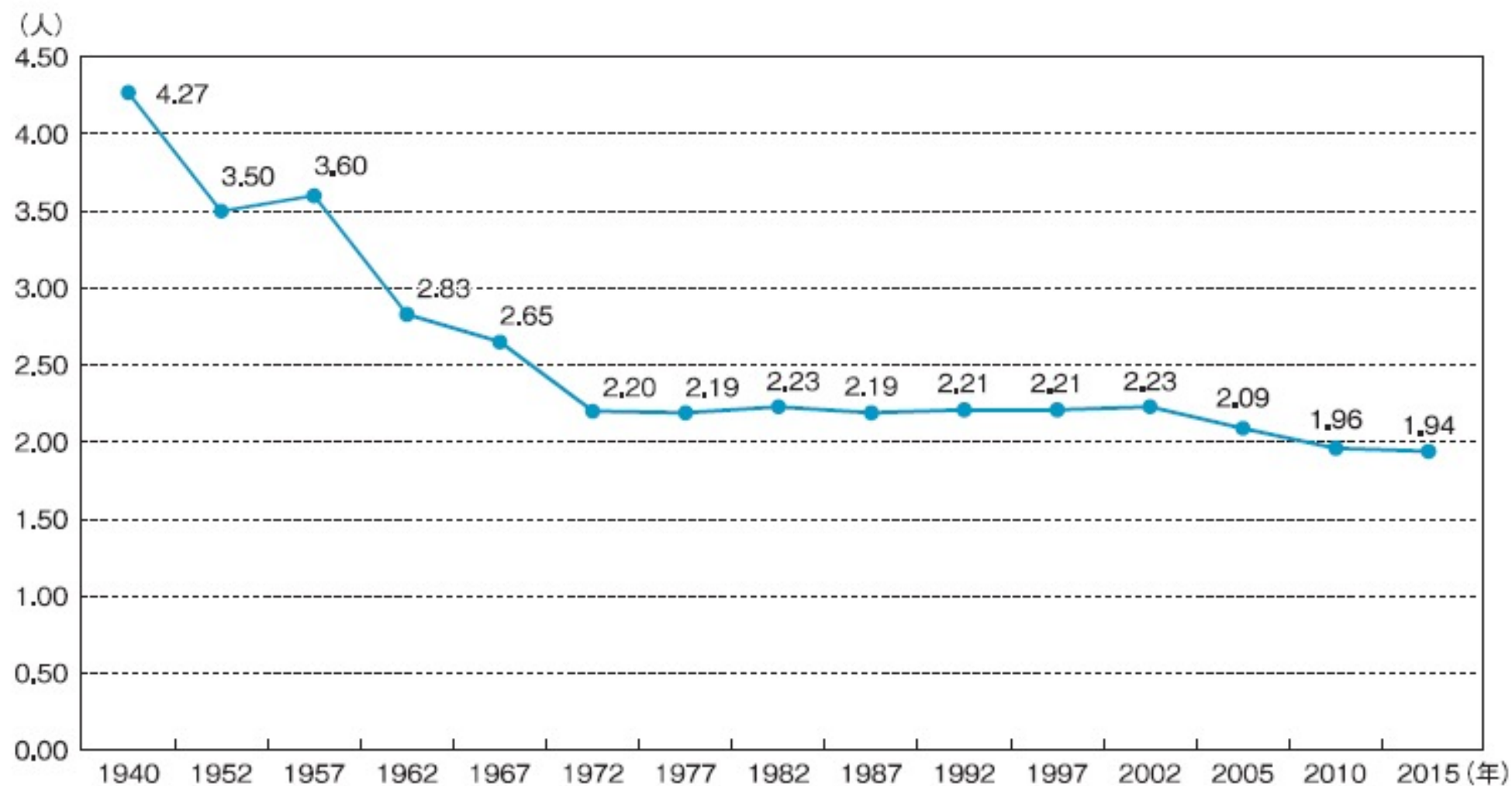
出典：「令和3年版少子化社会対策白書」14頁

年齢（5歳階級）別初婚率：女性



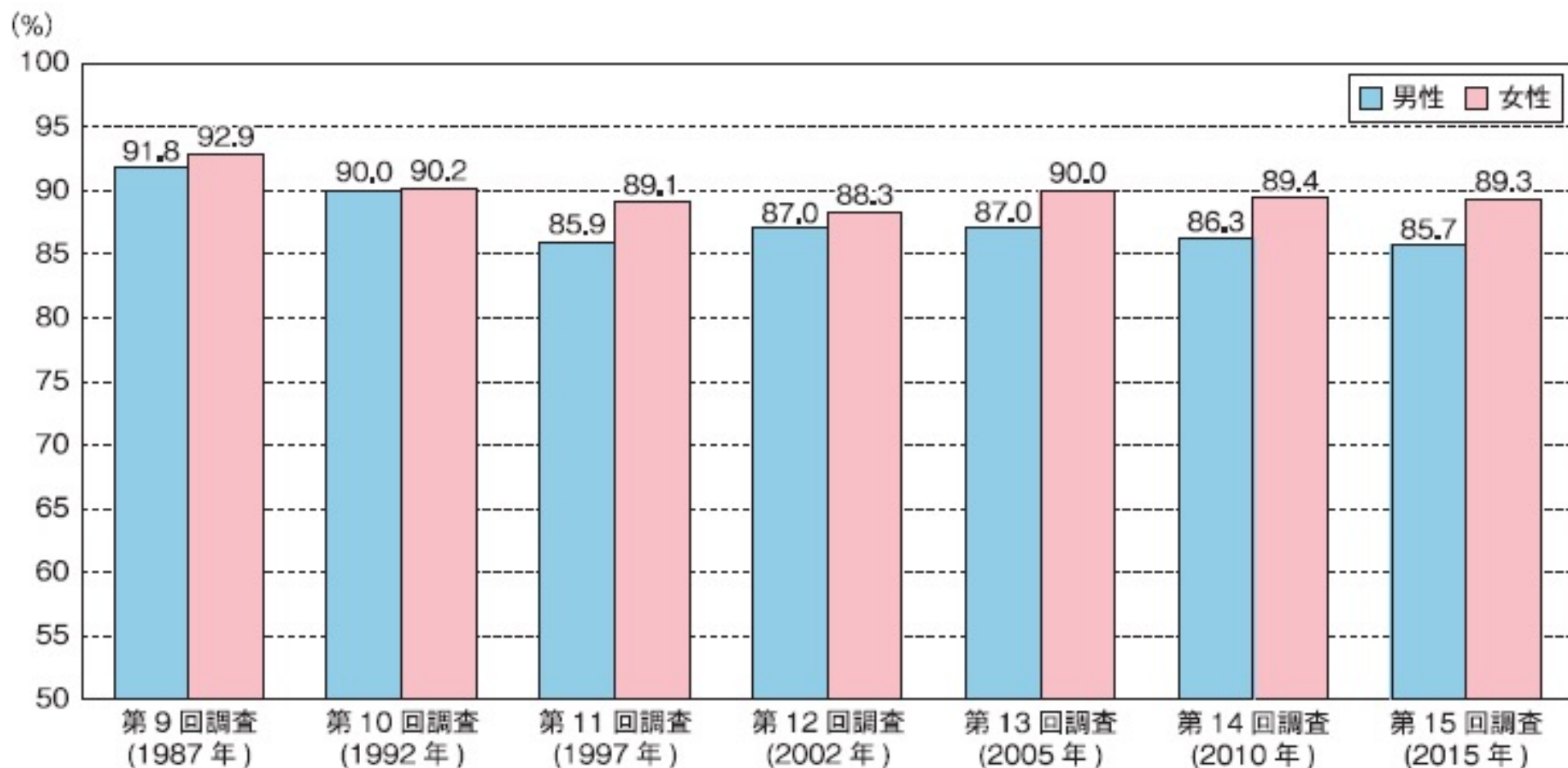
出典：「令和3年版少子化社会対策白書」14頁

完結出生児数の推移



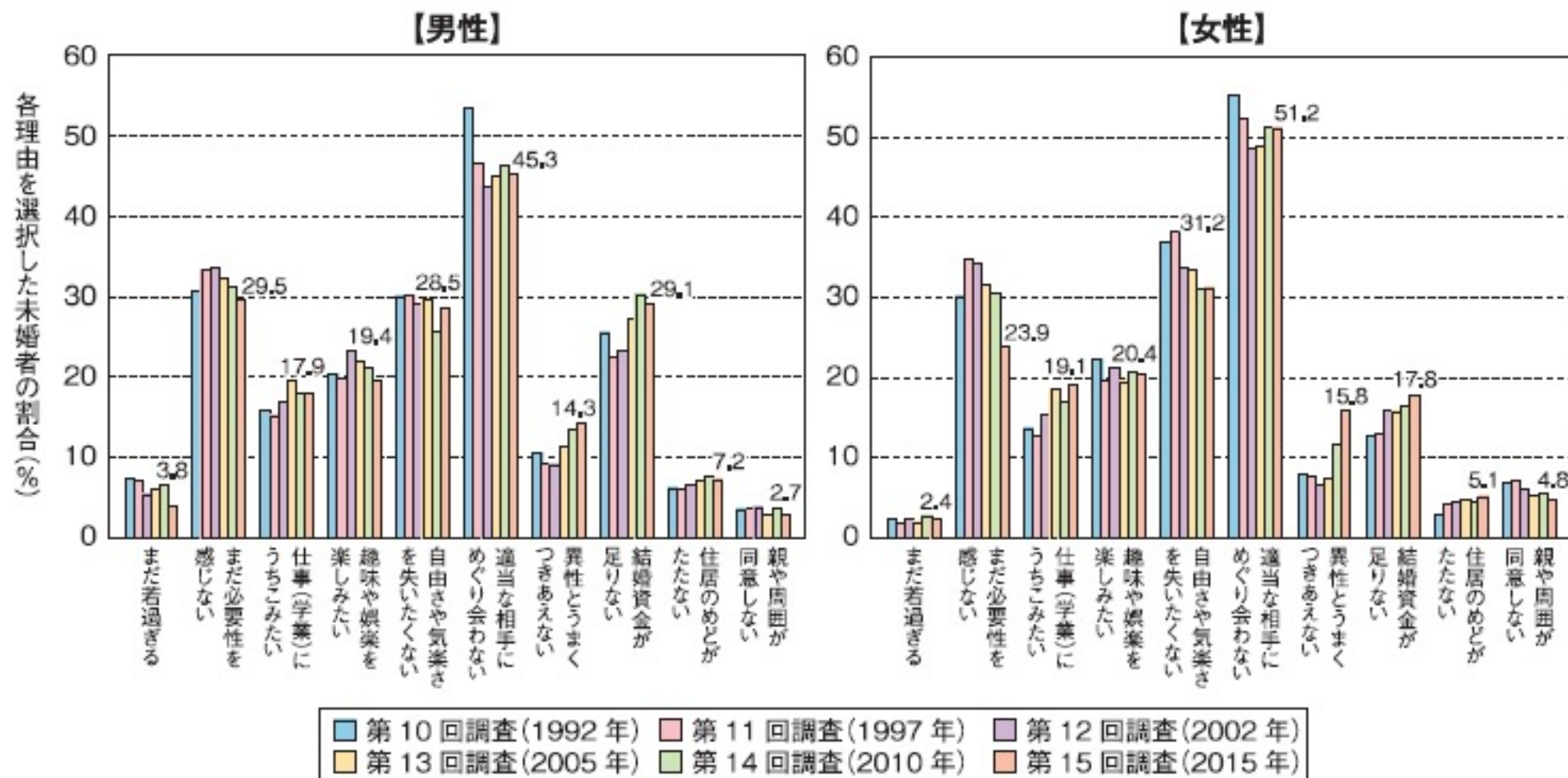
出典：「令和3年版少子化社会対策白書」15頁

未婚者（18～34歳）のうち「いずれ結婚するつもり」と答えた者の割合



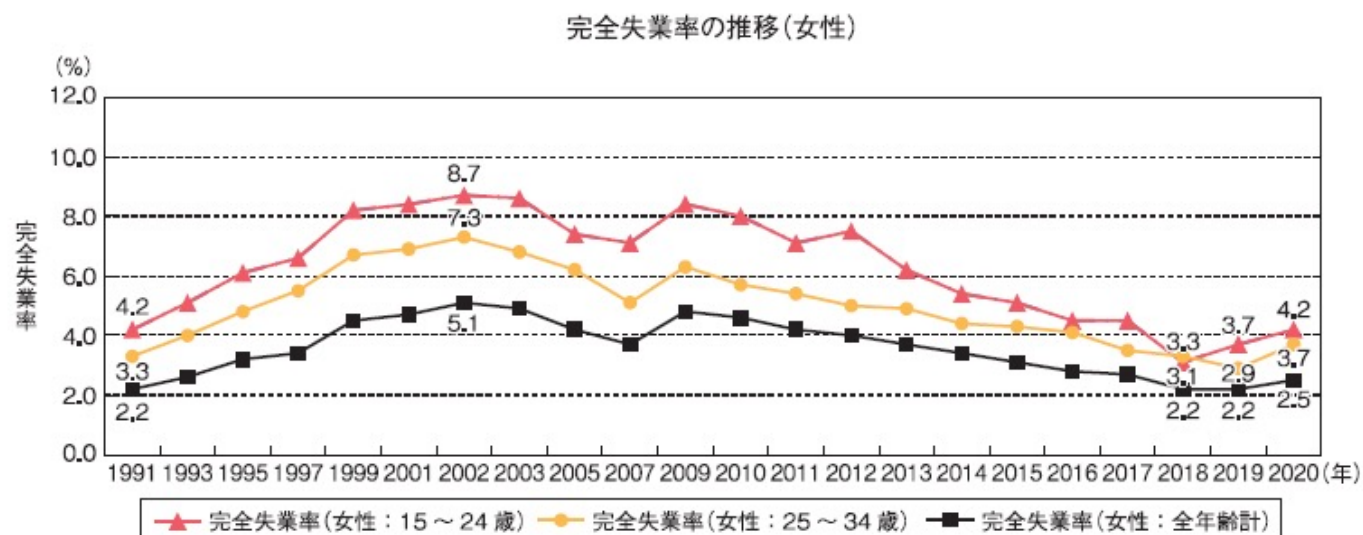
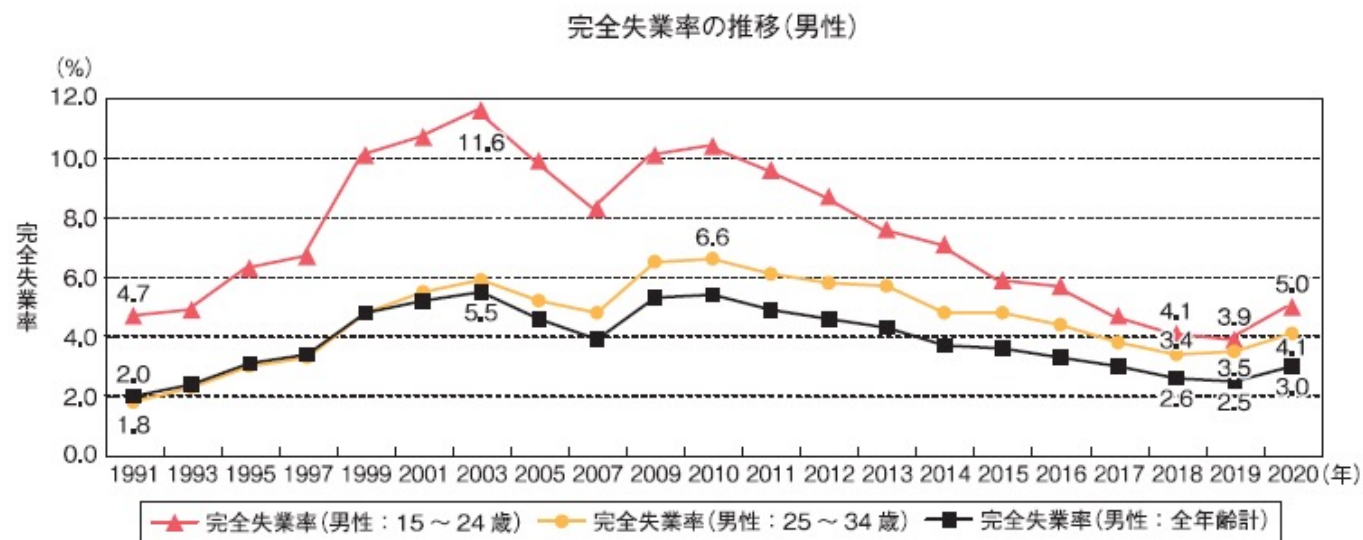
出典：「令和3年版少子化社会対策白書」16頁

独身でいる理由



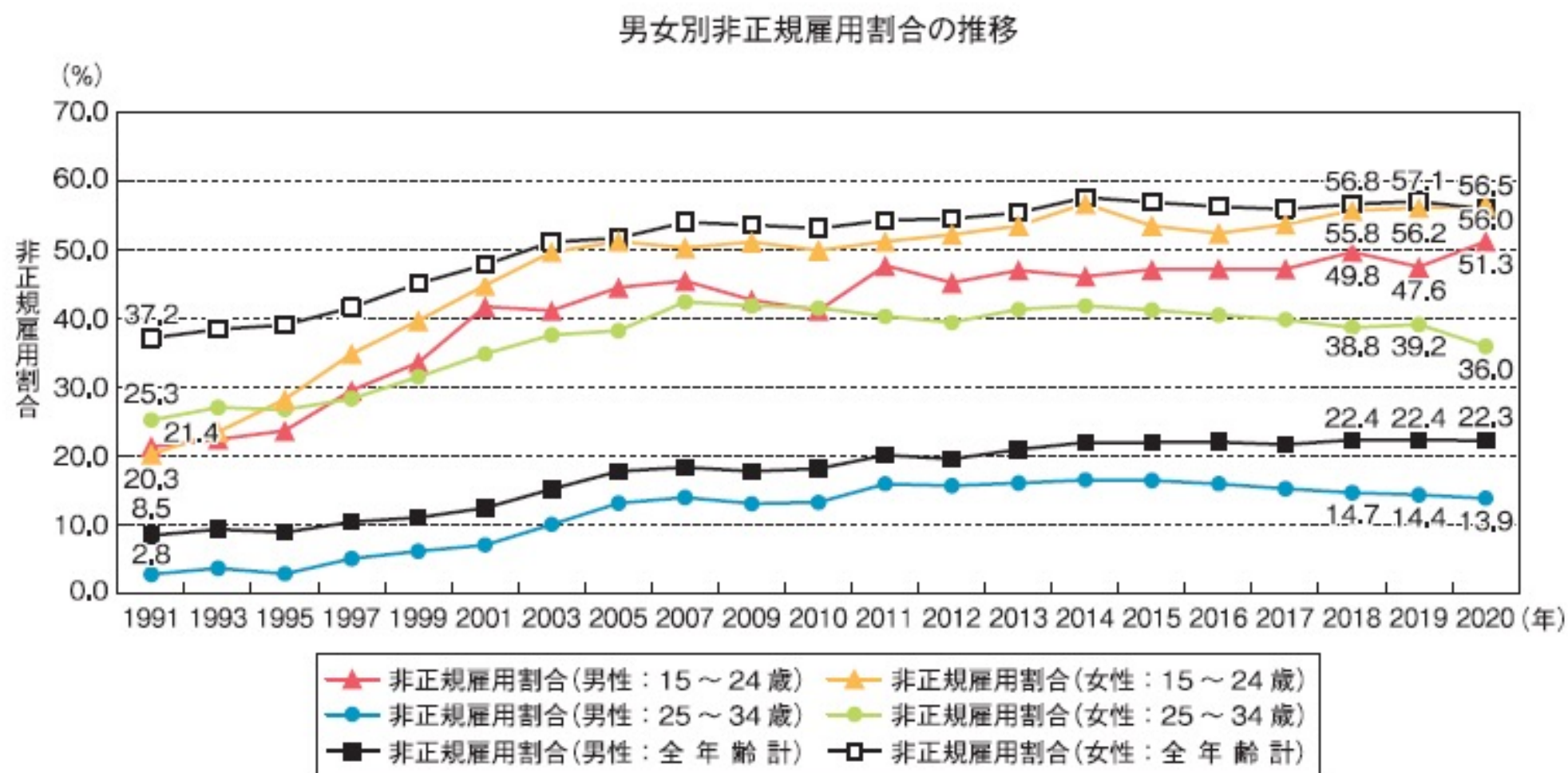
出典：「令和3年版少子化社会対策白書」16頁

若年者の完全失業率の推移



出典:「令和3年版少子化社会対策白書」17頁

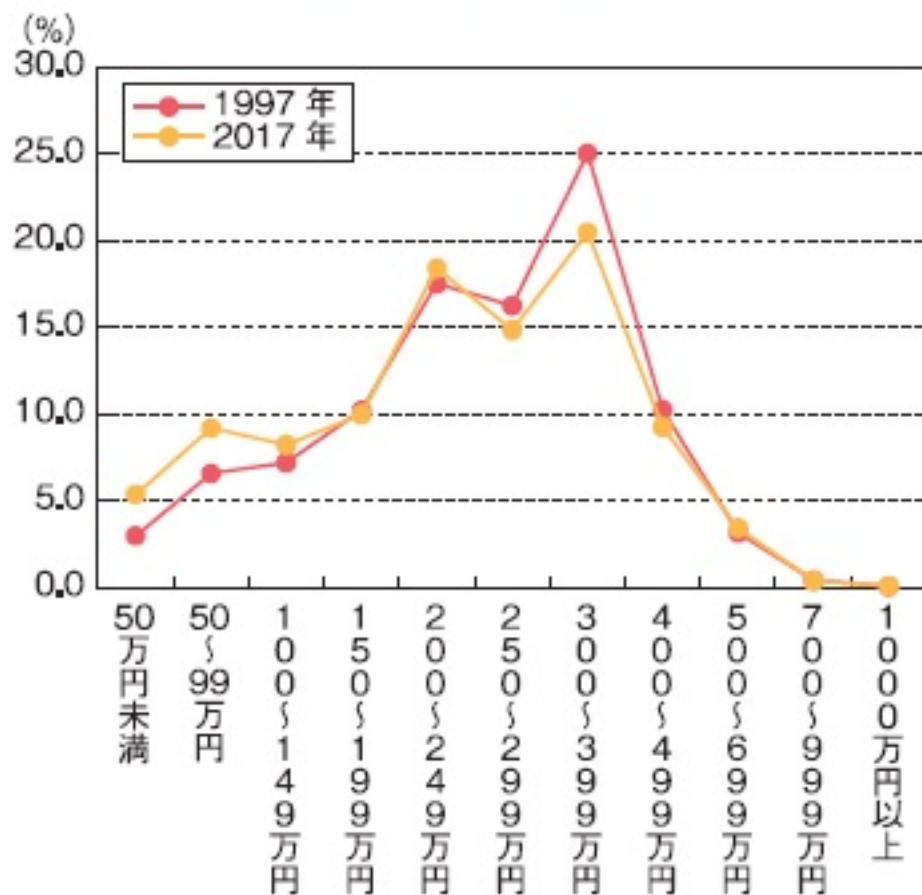
若年者の非正規雇用割合の推移



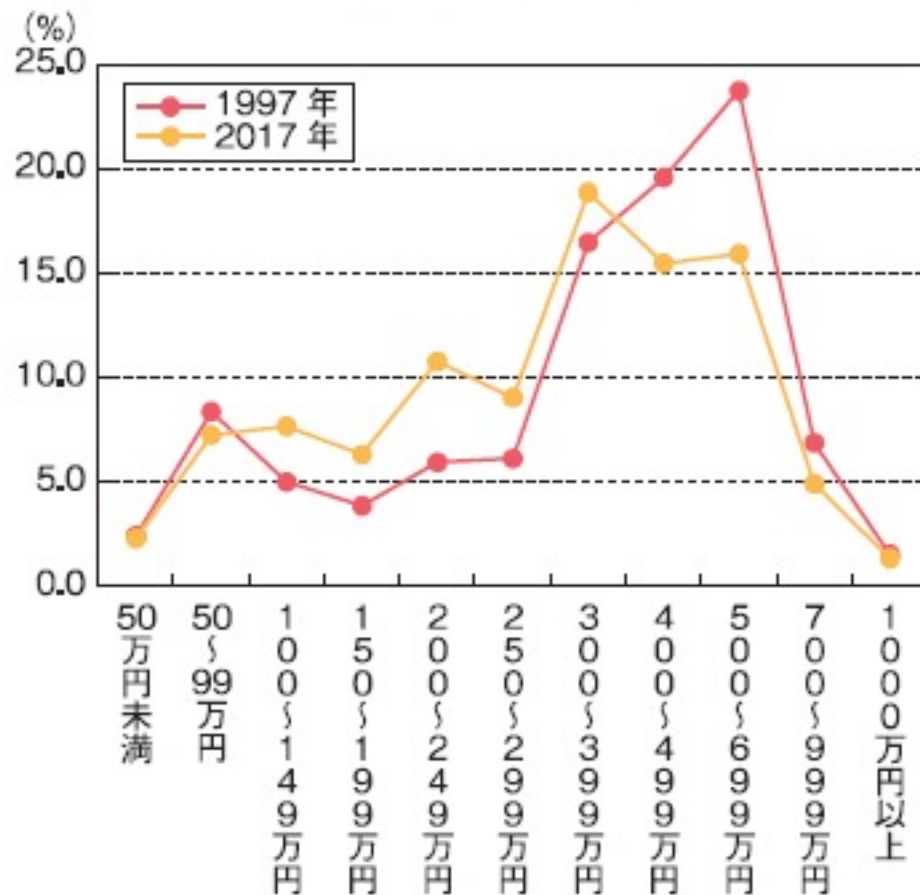
出典：「令和3年版少子化社会対策白書」18頁

20歳代・30歳代の所得分布

所得階級別雇用者構成(20歳代)

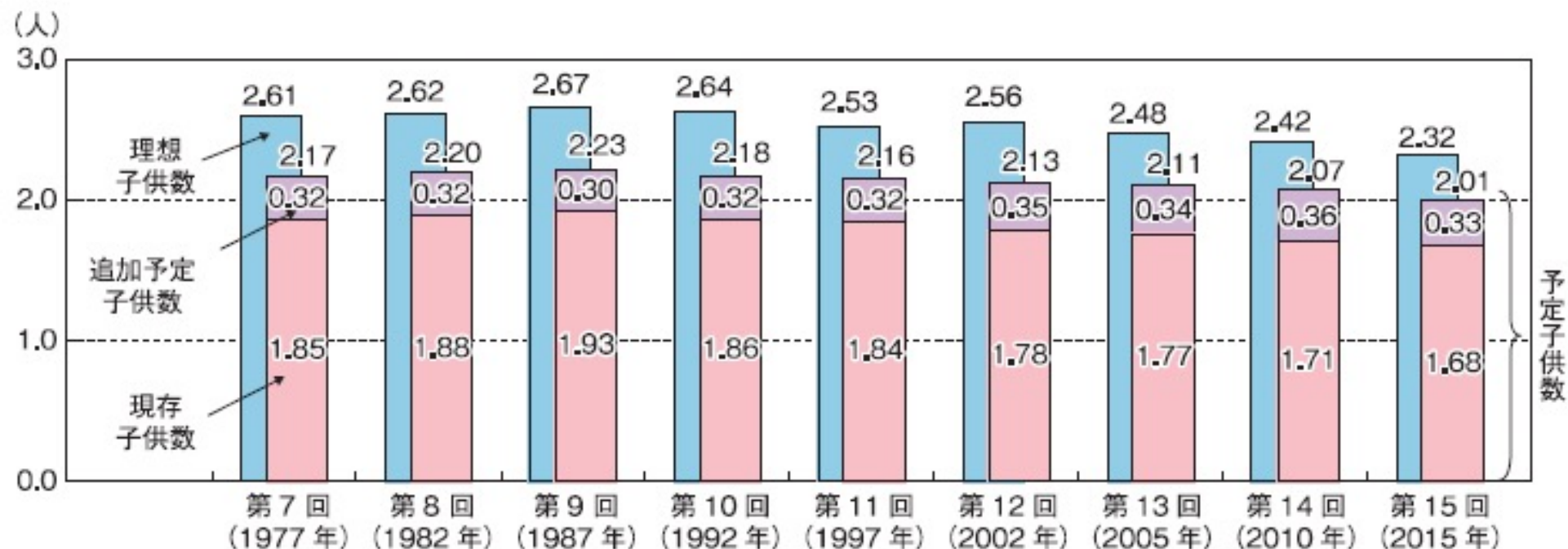


所得階級別雇用者構成(30歳代)



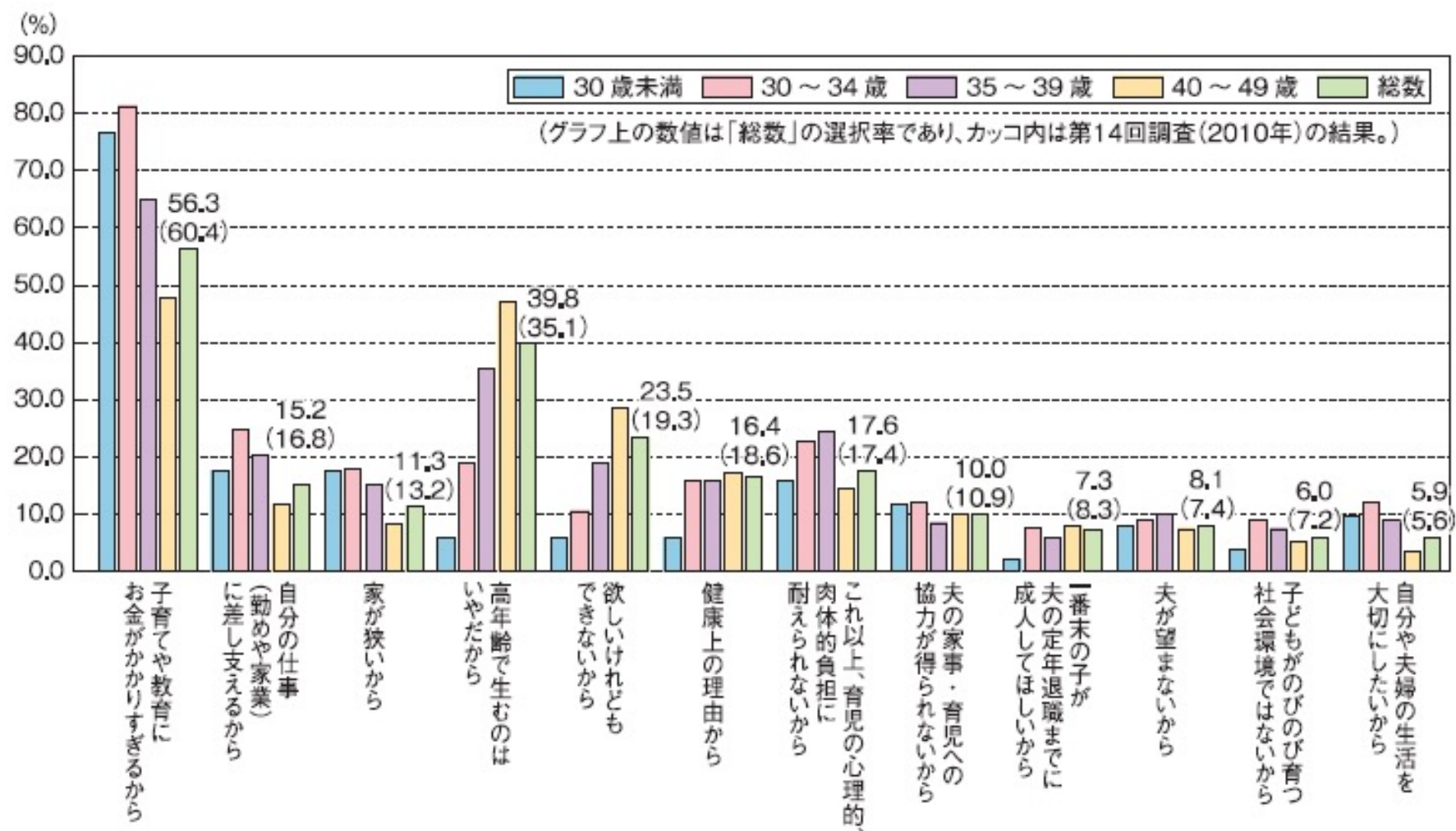
出典：「令和3年版少子化社会対策白書」19頁

平均理想子ども数と平均予定子ども数の推移



出典：「令和3年版少子化社会対策白書」21頁

妻の年齢別にみた、理想の子ども数を持たない理由



出典：「令和3年版少子化社会対策白書」22頁